

## 陸奥 生誕174年祝う

2018年07月08日

[https://www.yomiuri.co.jp/local/wakayama/news/20180707-OYTNT50062.html?from=ycont\\_top\\_txt](https://www.yomiuri.co.jp/local/wakayama/news/20180707-OYTNT50062.html?from=ycont_top_txt)



陸奥の功績について語る臼井事務局長（右、和歌山市で）

◇不平等条約改正 功績伝える 和歌山

和歌山市出身で、明治時代に外務大臣として不平等条約の改正や日清戦争の勝利などに尽力した陸奥宗光（1844～97年）の誕生日の7日、同市和田のかまやま竈山神社（吉良義章宮司）で、生誕174年記念祭が開かれた。

陸奥の生涯を知ってもらおうと活動する「『陸奥宗光外務大臣』の功績を教育に活かす実行委員会」が主催。竈山神社は、神武天皇の兄で奈良への東遷途中で亡くなったとされる

ひこいつせのみこと

彦五瀬命が祭神で、53歳の若さで死去した陸奥を重ねて開催したという。

あいにくの悪天候となったが、関係者ら約10人が参列し、祝詞奏上後、玉串を供えた。

実行委の臼井康浩事務局長（53）は「（日本を巡っては）中国や北朝鮮などと様々な問題が起きており、歴史を振り返る時期にきている。陸奥大臣のように、誇りを持って行えばできる、ということの後世に伝えたい」と話していた。